

第4回箱根町地域公共交通会議 会議録

日時：令和8年6月22日(月) 14時00分～15時00分

場所：箱根町役場本庁舎4階 第2・3会議室

【会議次第】

- 1 あいさつ
- 2 出席者紹介
- 3 議題
 - (1) 会長及び副会長の選出
 - (2) 箱根湯本温泉旅館送迎バスのキャッシュレス導入について
 - (3) 湯河原箱根線の路線廃止について
 - (4) その他

【議事概要】

- 1 あいさつ
環境整備部長から開会のあいさつ
- 2 会議成立報告
事務局から箱根町地域公共交通会議（以下、「交通会議」という。）の委員構成及び目的について説明した。
出席委員及びオブザーバー、事務局の自己紹介があった。
事務局から代理も含めて委員の出席が過半数を超えたため、会議が成立したことを報告した。
- 3 議題
 - (1) 会長及び副会長の選出
事務局から会長は箱根町地域公共交通会議設置要綱（以下、「設置要綱」という。）第4条第2項の規定に基づき、委員の互選により選任する旨が説明された。
会長への立候補者の有無を確認した後、事務局案として石井委員を会長に推薦し、承認された。
設置要綱第4条第4項に基づき、石井会長から副会長として市川委員が指名され、承認された。
 - (2) 箱根湯本温泉旅館送迎バスのキャッシュレス導入について
佐野委員から資料2-1に基づいて、箱根湯本温泉旅館送迎バス（以下、

「旅館送迎バス」という。)の事業概要やキャッシュレス導入にあたっての考え方の説明があった。

オブザーバーとして参加した箱根湯本温泉旅館組合の鈴木組合長から、運行経緯やキャッシュレス導入経緯について説明があった。

事務局から資料 2-2 に基づいて、今後の意見募集や運賃改定分科会を開催し、旅館送迎バスの運賃等変更の可否について、検討結果を取りまとめる旨を説明した。

資料 2-1・2-2 のとおり旅館送迎バスのキャッシュレス導入に係る手続きを進めることとして承認された。

<質疑>

(事務局)：資料 2-1 で令和 7 年度までの輸送人員の推移について記載がありますが、令和 8 年度の状況はいかがでしょうか。

(佐野委員)：令和 8 年 4 月と 5 月の月次ですと、対前年は 10%の増加で推移しています。

(3) 湯河原箱根線の路線廃止について

黒野委員から資料 3 に基づいて、伊豆箱根バスが運行する湯河原箱根線の運行状況や路線廃止に至った経緯について説明があった。

佐野委員から箱根登山バスが運行する湯河原箱根線の運行状況や路線廃止に至った経緯について説明があった。併せて、箱根登山バスの他路線が同様の区間を運行しているため、箱根町内には廃止区間がない旨の説明があった。

湯河原箱根線の路線廃止については、神奈川県生活交通確保対策協議会で検討を進めることとなった。

<質疑>

(小堤委員)：箱根登山バスが運行している年 1 回の臨時便は、いつ頃運行しているのでしょうか。

(佐野委員)：臨時便の運行は不定期となっていますが、昨年は 5 月に湯河原駅から箱根町までの片道を運行し、乗車人員は 2 名でした。

(4) その他

<質疑①>

(橘川委員)：箱根湯本駅前の渋滞についてですが、渋滞は横断歩道や温泉

場入口バス停等の様々な原因があると考えられますが、箱根町で対策したことや今後対策することがありましたら教えてください。

(事 務 局)：昨年度に下り線の温泉場入口のバス停を移設しましたが、今後は上り線のバス停についても対策を検討していきたいと考えています。また、信号機の設置やソフト対策につきましても、関係機関と協議を進めていきたいと考えています。

(関田委員)：渋滞対策についてですが、神奈川県の関係機関と箱根町の関係部署が定期的に意見交換や情報共有を行っています。また、今後につきましては、取組内容をホームページで公開できるよう調整しているところです。

<質疑②>

(オブザーバー)：質疑①で信号機の設置についての話がありましたが、これまでは設置が困難ということを知っていましたが、状況が変わるような動きがあったのでしょうか。

(事 務 局)：信号機の設置につきましては、警察や神奈川県と協議を続けている状況です。確実に設置できるという動きがあったわけはありませんが、設置に向けて引き続き協議していきたいと考えています。

<質疑③>

(黒野委員)：弊社では、小田原から大涌谷を経由して箱根園まで運行している路線があるのですが、大涌谷での渋滞が酷く、乗務員の拘束時間に影響を与えている状況です。このような状況が続きますと、運転士不足や路線バスの減便に繋がってしまうことが考えられますが、箱根町で対策していることや今後対策することがありましたら教えてください。

(事 務 局)：大涌谷の渋滞対策として、パークアンドライドや渋滞予告看板の設置等、ソフト対策を中心に対応しているところです。皆様のお力をお借りしながら、今後さらに効果が表れる対策を検討していきたいと考えています。

(関田委員)：ソフト対策についてですが、箱根DMOが展開している「箱根観光デジタルマップ」があり、大涌谷を含めた国道1号の渋滞予測が確認できるもので、交通の分散化や平準化を目的としたサービスとなっています。また、国道1号沿いの電光掲示板でパークアンドライドを実施している旨の周知を行っていますが、目に見える効果が表れていないことも事実ですので、引き続き対策を検討していきたいと思います。

<情報提供>

(於保委員)：外国のお客様が大きい荷物を持ってバスに乗車することが渋滞の原因の一つとして考えられます。私どもは小田原駅でお客様の荷物を預り、箱根の宿まで運ぶサービスの実証実験を11月から開始します。これによって、少しでも箱根町の渋滞が緩和されればと考えていますので、事前に皆様にお知らせします。

<閉会>